
スーパーマリオストライカーズで護衛中

アクアイド

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スーパーマリオストライカーズで護衛中

【Nコード】

N2816W

【作者名】

アクアイド

【あらすじ】

護衛中！12の軍隊の玉が、五月雨のように飛び交う！

ちょっと変わったルールの説明（前書き）

新規小説シリーズ第2弾。

ちょっと変わったルールの説明

突如、見知らぬ所に呼び集められたスーパーマリオストライカーズチャージドのサイドキッカーとなっっている8種族。1種族ごとに5人がいる。

アクアイド「今回からスーパーマリオストライカーズで護衛中をする。」

40人「イエーイ！」

アクアイド「キャプテンの12人は色々な所に隠れていたり、移動している。お前らの背中に書いてある1〜5までの数字は、キャプテンがお前らを仲間として認めると、キャプテンのエムブレムに代わる。」

アクアイド「ただし、仲間になれるのは3人までで、3人になるとボールが渡される。」

アクアイド「また、本来ならリーダーが倒されると負けだが、今回は全員が倒されると負けになる。」

勝利すると、賞金75万円を獲得！もちろん仲間全員がもらえる。

マップ

中央エリアグランドクロスロード

東エリアイーストタウン

西エリアウエストオーシャン

北エリアノースフォレスト

南エリアサウスマウンテン

次回、キャプテン探しからスタート！

ちょっと変わったルールの説明（後書き）

次回、まさかの展開！

消される者と消されぬ者（前書き）

まさかの展開！

消される者と消されぬ者

カロン3「一体なんだこれ・・・」

全員スタート前に配られた、1から40までの数字。

カロン3は29を持っている。

まいつかと言って、行くのだった。

一方ウエストオーシャン

ハイホー2「僕は38です。」

キノピオ3「ワイは21やで。」

全員が互いに数字を教え合っている。

だが全員、この後思いもよらぬ事態が起ることを知らない・・・

サウスマウンテン

テレサ2「何だこの数字・・・36って・・・」

その時！

テレサ2「なななななんだ!？」

テレサ2の体が光り始めた！

しかも、それだけではなかった！

キノピオ3「どうした？そんな変な顔して？」

ヘイホー2「だって光ってる・・・」

キノピオ3「な、なんでワイだけ！？」

ブルルルルル

ヘイホー2「はい。ええっ！？」

ヘイホー2「どうやら光ってるのは君だけじゃないらしい！」

キャサリン5「私、8なの。そしたら突然光り始めたの！」

ハンマーブロス4「そうなんだよ。俺は24なんだけど、突然キャサリン5光り始めるんだから。」

カロニ1「な、なぜ俺が！？この25番の俺が！？」

4人「うわああああああ！」

シュン！

なんと、4人が消えてしまった！

ブルルルルル！

ヘイホー2「何だ！？通達1！？」

キノピオ2「実はキャプテン12人に対し3人すると4人が入ってこれないということになった」

カロン5「このため、誠に勝手ながら4人を福引で決め、8、21、25、36の数字の者には強制退場してもらった。」

カロン4「ま、人数関係は仕方ないか・・・」

その頃イースタウンにて

チヨロプー3「あつ、デイジーさん！」

チヨロプー3がデイジーの元にたどりついた。

デイジー「じゃあ、登録するわ。」

すると、チヨロプー3の背中に書いてあった3のマークが、デイジーの雛菊のエムブレムに代わった。

一方ノースフォレスト

ヘイホー3「どうでもいいんだが・・・勲章の事はエムブレムが正しいんだか、それともエムブレムのほうがいいんだか...別にアクアイドがどっちでかこうかと思ってるわけではなくて...」

次回もキャプテン探しは続く！

消される者と消されぬ者（後書き）

アクアイド「良かった、人数があつて。」

4人「良くなーい！」

ドカーン！

アクアイド「ギャーー！」

ただ探すだけじゃね（前書き）

久々。

消された者たち

テレサ 2

キノピオ 3

キャサリン 5

カロン 1

ただ探すだけじゃね

プルルルル

テレサ4「メールだ。これから2個の宝箱を設置する。入手すればいいアイテムが手に入るので、好感度上がる。まあ、キャプテンと一緒に探しとくか。」

キノピオ2「なあ、チョロプー5。」

チョロプー5「どうした？キャプテンか？」

キノピオ2「ああ、いるぜ！」

視線の先には……

ワルイージ「誰か来ねえかな……」

ワルイージ……

キノピオ2「仲間にしてくれ！」

ワルイージ「おう、いいぜ！」

そんな彼の後ろから……

キャサリン1「先に来てるわ！」

ワルイージ「ということは、そろったな！」

ワルイージチーム結成！

キノピオ4「思っただけど、これ集めてる所ばかり出して面白くない。」

カット！

全員「ええええええええ！」

というわけで、チームがそろった。

マリオチーム

キノピオ1 ヘイホー4 テレサ4

ピーチチーム

ハンマーブロス4 キャサリン2 カロン2

ドンキーチーム

テレサ1 キャサリン3 チョロプー2

ワルイージチーム

チョコプー5 キャサリン1 キノピオ2

ルイージチーム

テレサ5 ハイホー2 ノコノコ4

ワリオチーム

カロン4 ノコノコ3 キャサリン4

クッパチーム

カロン5 テレサ3 ハンマーブros2

ヨッシーチーム

ハイホー1 ハイホー5 ノコノコ2

デ이지ーチーム

チヨロプー3 ノコノコ5 ハイホー3

クッパjrチーム

ノコノコ1 ハンマーブros5 チヨロプー4

ディディーチーム

ハンマーブros1 キノピオ4 キノピオ5

ボスパックンチーム

チヨロプー1 ハンマーブros3 カロン3

能力説明

スピード かわしやすさ、足の速さ。

シュート 投げる速さ。

パス 正確さ。

ディフェンス 掴みやすさ。

タイプ説明

バランス なんでもできる万能型。 マリオ ルイージ ヨッシー
ノコノコ ヘイホー

パワー 攻撃力、防御力ともに高く、かなり重要な存在。 ドンキ
ー クッパ ボスパッくん キャサリン チョロプー

オフェンス 正確に相手を狙い、高い攻撃力に優れるアタッカー。
ワリオ クッパ jr ハンマーブロス

テクニカル 攻撃力は低いが、素早い身のこなしと正確なパスで、
攪乱を得意としている。 ピーチ デイディー キノピオ テレサ

ディフェンス 早い足と防御力で、アタッカーを守る。 ワルイー
ジ デイジー カロン

いきなりなmission1(前書き)

今回もmissionあるに決まってるじゃん。

いきなりなmission1

プルルル

マリオ「あつ、missionあるんだ。」

ヘイホー4「何何？今から2つのエリアを閉鎖する。2つ目の閉鎖から20分たつとまた開かれる。ちなみにそのエリアにいると強制失格。まずは10分後にノースフォレストエリアを閉鎖する。」

このエリアにいるのは……

マリオ「やばい、俺が今いるとこだ……」

マリオと……

ワルイージ「何、最初がここかよー！」

ワルイージ……

マリオ「うわあ、ここ迷路なんだよ！入口を探せ！」

3人「はい！了解！」

7分後

マリオ「よし、出口だ！出るぞ！」

だが。

ワルイージ「そうはさせるか！」

マリオ「な、ここで囲まれた！？」

ヘイホー4「そうだ、マリオさん・・・」

ワルイージ「ふっ・・・行くぞ！」

マリオ「ぎゃああああ怖い！俺は逃げる！」

ワルイージ「逃がすな！全員追え！」

マリオ「まあ大丈夫だろ・・・この先迷路だし・・・」

ヘイホー4「一人だけ逃げるなんて、薄情な・・・」

テレサ4「僕たちは先に逃げましょう。」

2分後

ワルイージ「どこへ行った！？」

チヨロプー5「まだここにいるはずですよ！探しましょう！」

その時

ガシャン！

キャサリン1「な、何今の音！？」

キノピオ2「ま、まさか・・・」

キノピオ2は道に迷って脱出しています。

そう、3人はマリオにはめられてしまった！

その作戦の裏は一体！？次回へ！

作戦の裏を付け

プルルル

キノピオ2「メール…？嫌な予感しか…。」

キノピオ2「エリア封鎖時にエリア内にいたため、ワルイージ、チヨロプー5、キャサリン1強制失格。ワルイージチーム残り1人つて、もう終わったようなもんじゃないか！」

テクニカルタイプは、攻撃力が低く、パスで相手に渡して攻撃しないと当たらないため、1人では不利。

何があつたかというと…

ハイホー4「そうだ！マリオキャプテンが先に迷路の中に逃げて、全員を入口から遠ざける。」

テレサ4「その間に僕らが逃げる。そして迷路の中に逃げてくれ！」

キノピオ1「きっと相手は、キャプテンのマリオさんがまだいると思って探し始めます。そしてエリア閉鎖まで気付かず、探すでしょう。」

マリオ「なるほど…。」

そう、マリオチームの作戦だった…

プルルル

マリオ「お、仲間からか。」

キノピオ1「マリオさん、次は5分後にウエストオーシャンエリアを封鎖するみたいですよ。」

マリオ「俺はイーストタウンエリアにいる。お前達はどうせグランドクロスロードエリア周辺にいるはずだが、今から来てくれ。」

キノピオ1「はい、分かりました。」

ブルルル

ハイホー4「あれ、またメールだ。通達2?」

テレサ4「今から20個のボールをいたるところに隠す。探してくれ。」

キノピオ1「じゃ、行ってる間に探してみるか。」

ウエストオーシャンエリアにいるのは・・・

デイジー「私たちのエリアね・・・」

デイジーチーム1つ・・・

デイジー「ノコノコ5、ハイホー3、チョロプー3、行くわよ!」

3人「はい!」

しかし5分後・・・

デイジー「やった・・・脱出ね・・・！」

痔バーン！痔バーン！

ヘイホー3「なんだその着うた！」

デイジー「私が生まれた年のメタルヒーローだから。って、チヨロプー3強制失格！？」

ヘイホー3「まさか、砂にはまったんじゃ・・・」

チヨロプー3「砂の中にはまった・・・しかも気付かれてないとか・・・最悪だ・・・」

まさかの大せんたいーい！ゴーフアアイブ！

ヘイホー3「戦隊じゃなくて正解でしょ！紛れ込んでストップ・ザ・バトル使うな！」

その頃マリオチームは

キノピオ1「イーストタウンに入りますね。そろそろマリオさんとお会おうと思います。」

しかし・・・

ワイワイガヤガヤ・・・

ヘイホー4「おい、何かのチームが来るぞ！隠れよう！」

住民はイースタウンにしかおらず、さらに静かに暮らしているため、騒ぎが聞こえることはない。

キノピオ1「はい、マリオさんにボールを預けてる今は、攻撃手段がないですからね。」

テレサ4「あの樽の中は、3人分あるし、良くない？」

ヘイホー4「そうだな、早く隠れよう！」

パカッ

来たチームは・・・

ワリオ「宝箱どこにもないぞ！」

宝箱を探しているワリオチーム・・・

キノピオ1「うまく隠れないと・・・」

カタッ

ノコノコ3「？今樽が動きませんでした？」

ワリオ「思い違いだろ。」

その時！

ヘイホー4「そりゃーっ！」

テレサ4「とりゃー！」

ワリオ「何！マリオ軍か！」

カロンの4「でも、彼らはボールを持ってないから……」

ドン！

カロンの4「……………え？」

ヘイホー4「さっきの通達のボール！樽の中にあっただぜ！」

キャサリン4「ちょっと！あなたがいなくなったら誰が守るのよ！
クドクドクド……」

ドン！

テレサ4「隙ありすぎ。」

ワリオ「ということはあと1つにも……」

パカッ

ワリオ「あつ、いたぞ！」

キノピオ1「当てられるものか！」

コロコロ……

ワリオ「あ、待ちやがれ！」

ノコノコ3「私にお任せを！」

クルクル・・・

キノピオ1、逃げられるか！？

作戦の裏を付け（後書き）

護衛中 2日に1話

帰れま10 3日に1話

のペースでいこう。

樽キノコの逃走劇（前書き）

ちなみに樽には漬物が入っていました（キノピオのものだけ）
全員「そんなの作るなよ！」

樽キノコの逃走劇

キノピオ1「何だかこのまま回つてると酔いますね・・・でも、これなら逃げる事ができていいですね。」

だが・・・

ノコノコ3「待てーっ！」

キノピオ1「うわっ、来た！よし、自分も回って！」

ガガガガガッ！

ノコノコ3「うわっ、速い！」

キノピオ1の入った樽は路地裏に入っていく・・・

ノコノコ3「まずい！この先は分かれ道になってるんだ！ここで逃げられたら見失ってしまう！しかも、あそこ樽が多いんだよ！もし見失ったら、路地裏では見つからなくなるかもしれない！」

だが・・・

ノコノコ3「見失ってしまった・・・」

見失った・・・

そこに・・・

ボチャーン！

ノコノコ3「!？」

ここはサウスマウンテン。

そう、火山。

そのため、ノコノコ3はマグマの中に落ちた・・・

ノコノコ3「ぎゃあああああ！」

ちっ、復活したか。

ノコノコ3「何その外道な言い方!？」

mission1終了から10分経過

ブルルル

ハイホー4「メールですね。」

キノピオ2「mission1から10分たったので、2つのエリアを開放する。これで少しは楽になりますね・・・」

一方

マリオ「ハイホー4から連絡が来たぞ、樽の中に隠れてたってな。」

キノピオ1「そうだ、こんな作戦はどうでしょう・・・」

マリオ「いいね・・・」

ワリオチーム

ワリオ「何？路地裏に行った？」

ノコノコ「はい、一緒に行きましょう。」

次回、悲劇襲来！？

ボールは変わり種（前書き）

ボールがこれから特殊効果がつきます。

ボールは変わり種

ドン！ドン！

ワリオノコノコ3撃破。ワリオチーム終了。

2人「はあああああああ！？」

マリオ「実は、書いてる途中にお前らの部分が全て消えて、アクアイドがその辺飛ばした！」

2人「おいこら！俺たちのじゃました奴表に出ろ！」

ノコノコ2、ハンマーブロス2に撃破される。

しかしブーメランボールだったため、自滅した。

ハ2「おい！名前省略すな！」

アクアイド「お前だけ名前長いんだよ！」

これからはハ2で書きます。

そしてブーメランボールの効果は！？

アクアイド「書かない！」

ええーっ！

本編

ルイージ「こつちには新しいボールがあるぞ！」

クッパ jr「残念だったな！こつちにはチヨロプーがいる！だからその裏にいれば当たることは無い！」

ハイホー2「じゃあ、当たったら全員当たれよ！」

ノコノコ1「乗った！いいだろう！」

2人「乗らない！」

ノコノコ1「乗れよ！」

2人「誰が乗るか！？」

ルイージ「今のうちに！」

バシユ！

バチーン！バチーン！

ボールが跳ねている！

3人「え！？」

ドーン！

3人「ギャーッ！」

バウンドボール。これは跳ねるボールである。

ヘイホー2「じゃあ、当たれよ。」

ドン。

4人「・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

デイジー「クツパジャーチーム、陥落ね。」

キノピオ2「やばい・・・出会った・・・」

ドンキー「お前も終わりだ！行けーっ！」

ビュン！

キノピオ2「うわおっ！」

避けたが・・・

なんと、ボールが戻ってきた！

そのままキノピオ2めがけて飛んでいく！

ドン！

キノピオ2「ぐあーっ！」

サーチボール。狙った相手を追いかける。

キノピオ2「ぐはっ・・・無念だ・・・」

牢獄

カロン1「キノピオ2脱落！」

ワルイージチーム「うわー！」

チヨロプー3「それでも結構残ったほうだよ!？」

ワルイージ「まあ・・・そうだったよな・・・」

護衛中はネタ切れ寸前なので早めに終わります。

あっさりな終了

いきなりだが、今回で護衛中は終了する！

マリオ「ええーっ！」

その代わり、各チームのメンバーが当てた数×10万円の賞金贈呈だ。

マリオチーム

40万円

ルイージチーム

40万円

ドンキーチーム

10万円

クッパチーム

10万円

この護衛中のマップは、逃走中に受け継がれます。

では、また逃走中で会いましょう！

後書き

アクアイド「文字稼ぎだけです。」

マリオ「リンクの回転斬りをします!」

エアー!

アクアイド「はい!文字稼ぎがとうございました!」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2816w/>

スーパーマリオストライカーズで護衛中

2012年1月12日20時59分発行